

県章



広島県の頭文字の「ヒ」を図案化し、県章としています。円によって県民の和と団結を表現し、その重なりによって伸びゆく広島県の躍進と発展を象徴しています。(昭和43年7月16日制定)

県の木・花「モミジ」



モミジは広島県全域に分布し、特別名勝三段峡、名勝帝釈峡、日本三景宮島などモミジの名所も数多いことから、県の木に制定されました。なお、県の花は正式には決められていませんが、県民になじみ深いモミジを県の花としています。(昭和41年9月12日制定)

県の鳥「アビ」



アビは、北極やアジア大陸の北部で夏に繁殖し、冬南下してくる鳥です。瀬戸内海では特に、豊田郡の豊島周辺が「アビ渡来群遊海面」として、国の天然記念物に指定されています。(昭和39年7月13日制定)

県のさかな「カキ」



広島のカキは、約450年前から養殖されていたといわれる、広島県の代表的な水産物です。現在、生産量では全国シェアの約6割を占め、全国に圧倒的なファンを獲得しています。(平成2年9月6日制定)